

# 令和5年4月から市役所の組織が変わります ～一部変更のお知らせ～

「まちづくりの好循環」の維持・拡大に向けた、持続可能な行政運営に取り組むため、令和5年度の組織の見直しを行います。  
 ※一部の業務について所管する部署が変わります。本庁→穂波庁舎:子育て支援課の「子どもの予防接種業務」は、穂波庁舎内の「感染症対策室」が担当します。

変更内容			
変更前	変更後	場所	内容
市民協働部 健幸保健課 新型コロナウイルス対策室 健幸保健課 成人保健係(うち高齢者の予防接種業務) 福祉部 子育て支援課 母子保健係(うち子どもの予防接種業務)	市民協働部 感染症対策室(※)	穂波庁舎 1階	○「感染症対策室」は、新型コロナウイルスを含む感染症対策及び予防接種業務等を担当します。  注) 健幸保健課内の「新型コロナウイルス対策室」は廃止します。 注) 「子どもの予防接種業務」は本庁から穂波庁舎内の「感染症対策室」に移管します。
市民協働部 まちづくり推進課	市民協働部 まちづくり推進課 市民活動支援課(※)	本庁 4階	○「まちづくり推進課」は、まちづくり協議会や自治会への支援、交流センターの指定管理の推進、地域活動団体に関する業務を担当します。 ○「市民活動支援課」は、市民交流プラザや消費生活センターの運営、市民活動団体の活動の活性化、協働のまちづくり推進条例の周知等を担当します。  注) まちづくり推進課内の「地域拠点整備室」は廃止します。
企業局 上水道課 (給水係、維持係、建設係) 下水道課 (管理係、建設係) 上下水道施設課 (上水施設係 水質係 下水施設係)	企業局 上水道課 (維持係、建設係、施設係、水質係) 下水道課 (管理係、建設係、施設係)	穂波庁舎 2階	○企業局の組織を再編成することにより、「上下水道施設課」は廃止します。 ○上水施設係及び水質係の業務は「上水道課」が担当します。 ○下水施設係の業務は「下水道課」が担当します。  注) 企業管理課の変更はありません。 注) 給水係の業務は「上下水道お客様センター」が行います。

(※) は新設

## 医療あれこれ

### テーマ:「医療被ばく」について



飯塚市立病院  
放射線室

診療放射線技師

よしたけ ひであき  
吉武 秀晃

「被ばく」と聞くと、原爆や原発事故からの放射線物質による影響を連想されるかもしれませんが。原爆などの爆撃により人体が放射線にさらされることは「被爆」、医療における検査や原発事故にさらされることを「被曝」とあらわします。今回は医療における被曝についてお話します。「曝」という漢字は常用漢字でないことから「被ばく」で表記します。

「医療被ばく」とは病院やクリニックでの検査や治療を目的とした放射線による被ばくのことを言います。以前にも述べましたが、日本は医療における被ばくが諸外国に比べて非常に多いことが報告されています。日本の医療被ばくが多い理由は、CT・PETなどの医療機器の人口当たりの台数が諸外国より多く、皆さんが高度な医療を受けやすい環境にあるといえます。このように被ばくが諸外国より多いのは、決して悪いことではありません。しかし、病院を受診し放射線による検査を受けることは便益(メリット)を得ることになりますが、放射線に被ばくするデメリットも伴います。放射線検査を行う前提には、検査によって得られる情報(メリット)が被ばくをするデメリットを大きく上回ったときに行われます。

放射線は分裂の盛んな細胞に強い影響を与えることか

ら、胎児や乳幼児、小児への適用には慎重さが求められます。また同じ理由で、男女を問わず、生殖器への被ばくもなるべく線量を低く抑える必要があります。

被ばくによる人体への影響には2種類あり、ひとつが確定的影響です。これは一定量の放射線を組織や細胞が被ばくすると起きる現象をいいます。また、受けた放射線の量が多くなるほど、その障害も大きくなります。確定的影響は数多くの細胞が放射線によって傷ついたときに生じ、脱毛や白内障などの障害が発生することがあります。確定的影響は、放射線を受ける量を一定量以下に抑えることで防ぐことができます。

もうひとつが確率的影響です。一定量の放射線を受けたとしても、必ずしも影響が現れるわけではなく、放射線を受ける量が多くなるほど影響が現れる確率が高まる現象をいいます。癌や白血病は確率的影響です。しかし放射線の量が多くなったからといって、症状が重くなるわけではありません。

最後に、私たち診療放射線技師は、患者の皆様に安心して検査を受けていただくために放射線検査を行う際は、十分となる最適な線量を選択して、過剰な被ばくを減らすよう検査を行っています。